

# みちぶしん “道普請” その3 **土木** **未** **来**

自分達の道は自分達で守る！（協働による環境整備）

安全・快適な道路環境を整備するため、地域の皆さま主体により、県道の支障木伐採作業が行われました。  
平成22年度の協働事業3回のうち2回が下恵良九重線、また平成20年度から継続して実施されており、道路保全に対する沿線各地区民意識の高さを感じました。

**実施日**：平成23年1月23日（日）8:00～16:00  
**実施場所**：県道下恵良九重線  
玖珠町大字岩室 田代地区～九重町大字松木 田尻原地区



下恵良九重線は、玖珠広域ゴミ処理場や砕石場を往来する大型車の通行もあり、離合場所の確保や凍結スリップ脱輪対策を、求められています。対策には路肩改良が有効ですが、支障木の伐採が必要です。

昨夏、樹木所有者との調整と伐採作業を田代地区の皆様に行って頂き、土木事務所による路肩改良工事が11月に完成いたしました。  
このたび、隣接の田尻原地区においても、通過利用する田代地区と田尻原地区が共同して同様の取り組むことになり、土木事務所もお手伝いしました。

## 作業状況

【作業前ミーティング】  
周囲には残雪が残る氷点下の朝、高齢の方も居るはずですが皆さん現役の万全装備です。



林業に携わっている方が多く、手際良く作業が進みました。重機もチェーンソーも自前！



土木事務所は交通誘導員

## 作業後の状況

路肩の雑木が一掃  
→大型車との離合が容易に



枝打ちで、路面に光が・・・  
→凍結の心配が軽減



**極寒の中、お疲れ様でした！**  
**“道普請”を引き続きお願いします！**

玖珠土木事務所は、平成23年度に路肩改良工事等を行い、空間が確保できた道路区域を有効活用して脱輪対策などに取り組みます。